<MDPRO ミニコラム> 2015年(平成27年)の薬事工業生産動態調査の公表について

3月27日、薬事工業生産動態統計(以下、「本統計」という。)の平成27年(2015年)年報が厚生労働省 Web サイトに公表されました。<http://www.mhlw.go.jp/topics/yakuji/2015/nenpo/>

国内生産額は1兆9456億円(前年比439億円/2.2%減)、輸入額は1兆4249億円(同563億円/4.1%増)、輸出額は6226億円(同502億円/8.8%増)でした。

この結果、「国内生産額+輸入額-輸出額」で示される国内市場規模は2兆7480億円(同378億円/1.4%減)とリーマンショック後の平成21年(2009年)以来の減少となりました。

以下に、本統計における大分類*ごとの国内市場規模、及び国内生産品のシェアの一覧を2013年からの推移と共にお示しします。

大分類	国内市場規模(億円)				国内生産品シェア				
	2013年	2014年	2015年	2014→2015年	2013年	2014年	2015年	2014→2015年	
診断系	画像診断システム	2,800	2,964	2,671	-9.9%	55.3%	52.6%	54.0%	1.4%
	生体現象計測・監視システム	2,772	2,738	2,181	-20.3%	72.4%	70.8%	61.6%	-9.1%
	医用検体検査機器	616	574	606	5.5%	65.2%	64.6%	62.8%	-1.9%
	画像診断用X線関連装置及び用具	370	346	294	-14.9%	63.0%	56.2%	42.8%	-13.4%
	施設用機器	406	415	361	-12.9%	55.5%	72.1%	63.5%	-8.6%
治療系	生体機能補助・代行機器	5,345	5,678	5,683	0.1%	38.9%	37.5%	37.3%	-0.1%
	処置用機器	6,897	7,355	7,516	2.2%	56.3%	57.5%	54.8%	-2.8%
	治療用又は手術用機器	1,414	1,367	1,292	-5.5%	32.3%	29.1%	24.1%	-5.0%
	鋼製器具	447	453	496	9.3%	24.4%	28.9%	29.0%	0.1%
その他	眼科用品及び関連製品	2,378	2,377	2,469	3.9%	22.5%	21.0%	19.3%	-1.7%
	歯科材料	1,441	1,547	1,654	6.9%	78.0%	76.5%	74.7%	-1.8%
	家庭用医療機器	1,221	1,315	1,422	8.1%	64.7%	63.4%	62.1%	-1.3%
	歯科用機器	467	525	519	-1.1%	65.1%	62.7%	65.7%	3.0%
分野別	衛生材料及び衛生用品	184	204	316	54.6%	30.0%	37.2%	25.2%	-12.0%
	診断系医療機器合計	6,963	7,036	6,113	-13.1%	63.4%	62.0%	57.6%	-4.4%
	治療系医療機器合計	14,103	14,853	14,987	0.9%	46.3%	46.4%	44.7%	-1.7%
	その他医療機器合計	5,692	5,968	6,378	6.9%	49.3%	49.0%	47.3%	-1.7%
合計	26,758	27,857	27,479	-1.4%	51.4%	50.9%	48.1%	-2.7%	

上記表は2013-2015年度までの本統計からMDPROが作成

この分類ごとの増減から、最も影響が大きかったのは市場規模も比較的大きい「生体現象計測・監視システム」カテゴリにおける国内市場規模550億円余りの減少であることがわかります。さらにこのカテゴリの中分類以下の詳細を確認すると、電子内視鏡を中心とする「中分類：医用内視鏡」で700億円余りの国内生産高の減少が計上されています。この原因としては、2015年の国内内視鏡大手複数社の決算内容を確認しても該当事業の業績に関連性が確認できないこと、また、本統計の数量データでは小分類上の数量の増減はあるものの「中分類：医用内視鏡」全体としても大きな変動は見られないことなどから、何らかのデータ集計上の要因による可能性があります(すなわち国内市場の縮小を示していると判断はできないと思われます)。

一方、国内生産品のシェアに関しては全体的な低下傾向が見受けられますが、この原因等も含め、MDPROでは今後も更なる分析を進めていく予定です。

*本文中での「分類」とは本統計における2桁で示される分類を大分類、4桁を中分類、6桁を小分類としています。以下の例をご参照ください。

02	画像診断システム
0202	診断用X線装置
020202	一般X線撮影装置
020204	X線透視撮影装置